

「今週の一枚」



ヤブガラシ（ブドウ科）

多くのつる植物は樹木にとっては敵である。「やぶ」つまり小さな森林を枯らしてしまうほど勢いがあることからヤブガラシの名がついた。花の一つ一つは小さいが集合花であるので、全体としては黄色から橙色の大きな花のよう見え、チョウやハチが蜜を吸いに集まってくる。手のひら状に5つに分かれた葉は薬草のアマチャツルと間違われることがある。山地よりも平地の人家近くに多く、生垣などによく見られる。写真は支所構内のウバメガシの生垣に絡んだもの。葉の反対側から「巻きひげ」を伸ばし、それで他の植物の枝や葉に絡みつきながらよじ登る。
(埴田)

(No.13 2001.8.27 掲載)